

三菱自動車、コンパクト SUV『エクスフォース』の HEV モデルをインドネシアで発売

三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）は、インドネシアにおいてコンパクト SUV『エクスフォース』*のハイブリッド EV（以下、HEV）モデルを 7 月 16 日（木）から販売開始しました。本モデルは当社がインドネシア市場に投入する初の HEV モデルであるとともに、同国で生産する当社初の HEV モデルです。生産は同国の生産会社であるミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシアが担います。



『エクスフォース』 HEV モデル

『エクスフォース』は「Best-suited buddy for an exciting life（毎日を愉しく過ごすことができる頼もしい相棒）」をコンセプトに開発した 5 人乗りのコンパクト SUV です。2023 年 11 月にインドネシアで販売開始後、ベトナム、フィリピンなどのアセアン地域や、中南米、アフリカ、中東へと展開を広げ、世界各地域で販売を拡大する三菱自動車の重要な世界戦略車種のひとつです。スタイリッシュかつ力強い本格的な SUV デザインを有し、取り回しの良いコンパクトなボディサイズでありながら、5 人乗車でも広々とした快適な居住空間が評価されています。

三菱自動車 HEV システムについて

三菱自動車が誇るプラグインハイブリッド EV（PHEV）由来の HEV システムを搭載し、より高効率で優れた環境性能と力強い加速性能で『エクスフォース』の車両コンセプトが持つ魅力をいっそう高めました。FF 方式の 2WD をベースに、アクティブヨーコントロール（AYC）を始めとした独自の四輪制御技術により、ドライバーの意のままの安全・安心な走りを提供します。また、お客様が EV モードを選択することで、静かさが求められる場面でも周囲に気兼ねなく走行することが可能です。

当社取締役代表執行役社長 兼 COO 岸浦恵介のコメント

「HEV モデルでありながらモーター主体の EV 走行を可能とした『エクスフォース』は、環境にやさしく、電動車ならではの力強く気持ちのよい走りを実現。当社独自の多彩なドライブモードと相まって、どんな天候や路面でも安全・安心、快適に、毎日の運転を楽しむことができるモデルに仕上がっています」

*一部市場では「アウトランダースポーツ」として販売

三菱自動車について

三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点をもち、グローバルで約 28,000 名の従業員が働いています。プラグインハイブリッド EV の『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html>

以上